

## 都市計画区域マスタープランの見直しについて

### 1 マスタープラン策定の基本的考え方

都市計画区域マスタープランは、長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を示すものであり、本格的な人口減少・超高齢社会問題、切迫する南海トラフの地震や中央構造線活断層地震への備え、さらには、地球環境問題の深刻化など、本県を取り巻く社会経済情勢の変化に応じ、都市づくりの理念、土地利用の方針等について大幅な見直しを行うこととしております。

### 2 マスタープランにおいて定める事項

- 都市計画の目標（都市づくりの基本理念）
- 区域区分の決定の有無及び区域区分を定める方針
- 主要な都市計画の決定の方針  
（土地利用、都市施設、市街地開発事業、自然的環境の整備又は保全）

### 3 見直しのポイント

#### 徳島東部都市計画区域マスタープラン

#### （1）基本的な考え方

- ・ 無秩序な開発による市街地の拡大防止のため、引き続き、区域区分を維持
- ・ 土地利用規制の強化と大胆な緩和による防災・減災・地域活性化の推進
- ・ ICT活用による多様な働き方の創出 など

#### （2）「都市づくりの理念」の見直し

- ① すべての人が暮らしやすい「地方創生拠点連携型」の都市づくり
- ② 「すべての人命を守る」安全で安心して暮らせる都市づくり
- ③ 豊かな自然と調和し、地域資源の保全・活用による環境にやさしい都市づくり
- ④ 地域の独自性を活かし、魅力と活力にあふれる都市づくり
- ⑤ 住民の目線に立った創造性豊かな都市づくり

## 日和佐都市計画区域マスタープラン及び牟岐都市計画区域マスタープラン

### (1) 基本的な考え方

- ・ 無秩序な市街地拡大の恐れがないため、引き続き、区域区分を定めない
- ・ 発災後の迅速かつ円滑な「都市の再生」を実現するための  
平時からの「復興まちづくり」を見据えた取組み
- ・ 「命の道」として広域連携を強化する阿南安芸自動車道の整備促進 など

### (2) 「都市づくりの理念」の見直し

- ① すべての人が暮らしやすい、安全で安心なまちづくり
- ② 地域の魅力ある資源を活かし、交流が広がるまちづくり
- ③ 美しく豊かな自然環境を保全・活用し、自然と調和したまちづくり

## 4 今後のスケジュール

平成30年3月      都市計画審議会  
                         国土交通大臣との同意協議  
                         都市計画決定

# “新未来” 徳島東部都市計画区域マスタープラン

## 現行マスタープラン(H24.5)見直しの背景

刻々と変化する社会情勢

本格的な人口減少・  
超高齢社会問題

進行する  
東京一極集中

様々な課題に直面

大規模地震災害  
への備え

地球環境問題  
の深刻化

新未来「創造」とくしま行動計画  
的確に対応

## 「まちづくり」に関連するこれまでの取組み

### >「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現

- 新たな人の流れをつくる「消費者庁等の徳島移転」
- 「サテライトオフィス」の誘致拡大、移住交流の推進
- 「徳島東IC」に続く、新たな陸海空の結節点「津田IC」の整備

### >「安全安心・強靱とくしま」の実現

- 震災時死者ゼロを目指す  
「命を守るとくしま-0(ゼロ)作戦条例(愛称)」の制定
- 「イエローゾーン」及び「特定活断層調査区域」の指定
- 「中央構造線活断層地震の震度分布図」の公表

### >「環境首都・新次元とくしま」の実現

- 脱炭素社会の実現に向けた  
「すだちくん未来の地球条例(愛称)」の制定
- 燃料電池自動車の導入、水素ステーションの整備
- 治水に加え、利水、水循環、環境等の概念を含む  
「未来へ紡ぐ”OUR(あわ)の水”管理条例(愛称)」の制定

新たな視点で見直し

## マスタープラン見直しのポイント

### ①「基本的な考え方」を“新規項目”として前段に追加

- 社会情勢が大きく変化する中、都市計画の重要度は一層増大し、都市のあり方を見直す大きな転換期
- 無秩序な開発による市街地の拡大を防止するため、引き続き、区域区分を維持
- 土地利用規制の強化と大胆な緩和による防災・減災・地域活性化推進、ICT活用による多様な働き方創出
- 「地方創生の旗手・徳島」の取り組みを踏まえ、「一歩先の未来」を見据えた、新たなまちづくりの考え方のもと、現行マスタープランを高次元へと進化
- 本マスタープランは毎年点検を行い、新しい考え方を取り入れながら見直しを実施
- 豊かな暮らしを将来世代に引き継ぎ、輝く未来を切り拓く、快適で安全・安心なまちづくりを推進

「バックキャスト」の視点  
に立ったまちづくり

### ②「都市づくりの理念」を大胆に見直し

20年先の姿を展望

地方を創生し、交通+情報ネットで連携強化

#### >すべての人が暮らしやすい、「地方創生拠点連携型」の都市づくり

- ① ICTの活用による多様な働き方の創出、行政・医療・教育等のサービス機能の高度化
- ① 移住・定住に向け、空き家、遊休施設を活用した移住交流施設・定住促進住宅等の整備
- ① 子育て・医療・介護等の生活支援サービスの集約による快適で効率的な生活環境の確保
- ① 四国横断自動車道のインターチェンジ周辺における工業・流通業務機能等の集積・強化
- ① 高速道路網等の整備(4車線化等)による経済の活性化、地域の観光力の向上

#### >「すべての人命を守る」安全で安心して暮らせる都市づくり

震災時死者ゼロを目指す県土の強靱化

- ① 災害が発生する恐れのある区域における安全な地域への居住誘導、新たな建物の立地制限
- ① 特定活断層上における特定施設の新築回避、安全な地域への移転に配慮
- ① 復興まちづくり計画を見据え、応急仮設住宅の建設候補地の検討など平時からの事前準備

#### >豊かな自然と調和し、地域資源の保全・活用による環境にやさしい都市づくり

- ① 気候変動に配慮し、森林資源の保全、再生可能なエネルギー資源の活用 本県が誇る自然環境を次代へ継承
- ① 既存集落の維持・活性化、グリーンインフラ(道路・建物等の緑化)による自然環境の保全
- ① 森林、農地、河川における水の涵養機能の向上による健全な水循環の維持・回復

#### >地域の独自性を活かし、魅力と活力にあふれる都市づくり

交流・連携による新たな価値の創造

- ① 地域の主体となる市町の独自性・多様性の尊重と地域間交流・連携の強化

#### >住民目線に立った創造性豊かな都市づくり

多様化・高度化する住民ニーズへの対応

- ① 暮らしやすい都市の実現に向け、住民参加による都市計画提案制度の活用

時代の変革に“柔軟かつ大胆”に対応し、徳島の「新未来」を創造！

# 日和佐都市計画区域マスタープラン・牟岐都市計画区域マスタープラン

## 現行マスタープラン(H16.5)見直しの背景

刻々と変化する社会情勢

本格的な人口減少・  
超高齢社会問題

様々な課題に直面

大規模地震災害  
への備え

地球環境問題  
の深刻化

新未来「創造」とくしま行動計画  
的確に対応

## 「まちづくり」に関連するこれまでの取り組み

### >「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現

- 新しい人の流れを生む「サテライトオフィス」の誘致拡大
- 空き家・遊休施設を活用した「移住・定住」の促進
- ICTを活用した多様な働き方の創造を加速

### >「安全安心・強靱とくしま」の実現

- 震災時死者ゼロを目指す  
「命を守るとくしま-0(ゼロ)作戦条例(愛称)」の制定
- 「津波災害警戒区域(イエローゾーン)」の指定
- 県南地域の災害医療拠点となる「県立海部病院」の高台移転
- 海拔表示シートの設置、危険な空き家の除却

### >「徳島県南部圏域振興計画」

- 阿南安芸自動車道の整備促進
- 道の駅日和佐を拠点とした地域の活性化
- 薬王寺の門前町の再生
- 文化資源の情報発信(4k動画、VR体験)

新たな視点で見直し

## マスタープラン見直しのポイント

### 「基本的な考え方」を“新規項目”として前段に追加

将来の南部圏域の  
都市計画区域のあり方を検討

- 近接する都市との連携を強化し、交流人口の拡大、雇用の確保や地域経済の活性化を推進
- 無秩序な市街地の拡大の恐れがないため、引き続き、区域区分は定めない
- 大規模地震に備えた防災・減災対策と発災後の迅速かつ円滑な「都市の再生」を実現するための平時からの「復興まちづくり」を見据えた取り組み
- 「命の道」として広域連携を強化する阿南安芸自動車道の整備促進
- 重伝建(出羽島)や門前町(薬王寺)の保全と活用

### 「都市づくりの理念」

- >すべての人が暮らしやすい、安全で安心なまちづくり
- >地域の魅力ある資源を活かし、交流が広がるまちづくり
- >美しく豊かな自然環境を保全・活用し、自然と調和したまちづくり

### ◆共通施策◆

- ・公共交通の利用促進による維持・存続と地域に根ざした公共交通ネットワークの形成
- ・復興まちづくり計画を見据え、復興阻害要因を解消(地籍調査の推進、所有者不明地解消)
- ・全国屈指の光ブロードバンド環境を活かしたICTの活用による多様な働き方の創出
- ・空き家や遊休施設を活用したサテライトオフィスの企業誘致と新たな産業の創出

### ◆独自施策◆

- |     |  |
|-----|--|
| 日和佐 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波浸水想定区域からの移転用地、移住・定住を促す住宅地等の高台整備を推進</li> <li>・応急仮設住宅の建設を想定したりバーシブルな公園整備を推進</li> <li>・道の駅日和佐と周辺観光資源との連携による魅力の向上(重点「道の駅」選定)</li> <li>・歴史、文化資産と調和した町並みの保全・活用</li> </ul>  |
| 牟岐  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立海部病院を核とする新たな防災・医療拠点の整備</li> <li>・災害リスクを配慮しつつ、地域の意向を踏まえた海部病院跡地の利用</li> <li>・「重要伝統的建造物群保存地区(出羽島)」における町並みの保全と良好な景観の形成</li> <li>・日本で唯一となる出羽島大池のシラタマモ自生地、南阿波サンライン・風景街道など<br/>全国に誇る自然や景観と共生するまちづくりを推進</li> </ul> |

時代の変革に“柔軟かつ大胆”に対応し、徳島の「新未来」を創造！